

# 東日本大震災による主要港湾における 物流の被害と復旧状況（中間報告）

柴崎 隆一<sup>1</sup>・岡本 直久<sup>2</sup>・竹林 幹雄<sup>3</sup>・石黒 一彦<sup>4</sup>

<sup>1</sup>国土交通省国土技術政策総合研究所

E-mail: shibasaki-r92y2@ysk.nilim.go.jp

<sup>2</sup>筑波大学

<sup>3</sup>神戸大学

<sup>4</sup>神戸大学

東日本大震災によるインフラや交通機能の被害・復旧状況については各所で取りまとめられているところであるが、本発表では、地震および津波により甚大な被害を受けた東北・関東の太平洋沿いの主要港（北より、八戸、久慈、宮古、釜石、大船渡、気仙沼、石巻、仙台塩釜、相馬、小名浜、茨城（日立・ひたちなか・大洗）、鹿島の各港）について、特に物流機能の観点から、筆者らが数回に分けて行った現地調査および新聞・雑誌記事等をもとに、港湾施設および周辺立地企業の被害・復旧状況を整理し、今後の復興の展望について述べる。

キーワード：東日本大震災，工業港，物流被害